



第八八號

兒童指導委員會組織

所内男女青少年のギャング的行動防止の一策として、このるに依つて兒童指導委員會が組織されたとウオルター社会活動部長は發表した。

此の会は男女青少年を善導するの目的であつて決して罰せんが爲ではない、犯罪を未然に防ぎにある。

若し犯罪の行はれた場合は同会が委員會を開く。

又被害のあつた場合は直ちに、ウオルター氏に報告されたし。

季節労働者福音

同胞の中で季節労働し收穫を終つて契約が満期となつた場合、本人は雇主と直接面會して附近の町で永入に仕事をするか、滞り出るとして馬車轉住監督官に發表した。其際、再転住事務員に申込みはよい。

再転住代理人はユーメキシコ州サンタフェーに置いてあり、更にコロラド州グリーレイ、ネブラスカ州シドニーに近日開設左の四項目につき執務すると。

- 一 同胞出働者と雇主との問題解決
- 二 住宅問題
- 三 職業口を潤沢に用意する。
- 四 一般再転住を容易に且満足にする。

本紙ギャング記事に關し聲明

善王と惡王

本紙のギャングに關する警鐘は、晴天霹靂止の如く全同胞に及ぶを呼び起し、弛緩せんとする民心を復興し、青年子女を訓育し、善王と惡王の對立をすべしとの聲が轟々と全館府に漲らんとした。來たことは慶賀に堪へない次第である。只茲に一般の注意を喚起し、一度一事は、暴行をしたギャングが赤帽子を着て居たと云ふ記事は逆説的に、

(同段左端の續き)
「た者で、善王か、青年が沢山居る、赤帽を被らぬ者にも不良は介在する道理である。要するに善王と惡王とはその人の平素の行爲が完全に且明瞭に証明するてはなにか。」

「赤帽子を被れる者は皆ギャングなり」と曲解せぬ事である。これは例へば「銀行に黒帽子の強盗団が押入るの」記事を読んで、黒帽子を被った者は皆強盗なり」と断するに等しい誤謬である。然し事実少數の人はそんな解釈を、憤慨して居る向もある。正しいから啓蒙の爲特記する所以である。實際の所赤帽子を被る以下同段右端に續く)

ケンブリッジ市開催の十転住所 繪画展に四名入選す

比良の爲に万丈の氣を吐く

五月廿日マセチヤセツ州ケンブリッジ市で開催された、親友会主催の全転住所繪画展覧會に當所から四名出品し、全部入選した云ふ快報が來た。即ち一般繪畫部では山の市、高校美術教師中村靜子嬢佳作十五萬圓賞。

近郊に狂犬病流行

當所附近の部落に狂犬病が流行してゐるから、所内でも口に泡をつけて居る様な犬に對しては注意せよと衛生局より警告があつた。若し病氣の疑ひある犬を見附けたら早速警察が病院に通知して欲しい。又犬に咬まれた場合は至急病院に行き手当を受けねばならぬ。

法清潔に

家のまわりを清潔にしませう

ユタ銅山へ希望者 ユタ州ビンガム銅山日本入ホーマンより手紙を受取った人は山の市職業事務所まで

外部就職口

市俄古

自動車々体メンダ修繕工三名

經驗必要 一時間一馬一馬十仙

同市

菓子会社積出人三名 初任一時間六十仙

同市

病院附因者一名 宿舍食費附月給百五十馬一二百馬

同市

クリーブブランド 自動ネジ操縦手 經驗必要

最初一箇月一時間 七十五仙

同市

以後一時間一馬四十仙 米國司法卿ビッドル氏の從姉妹カンスタンス、ビッドル嬢の下男一名 食室附月給八十馬

比良吟社句抄

雑詠

出る人にとまるとる人にセーシ咲く 櫻井銀鳥
雨意又も風に変りし木の芽かな 全
耕人き拾ひ集めてバス戻る 佐藤一棒
岩ひだを移る夕陽暮れ遅き 全
青空を光り下りくる蝶なりし 奥野吼雲主
夕ンタの山廻つて帰る春の月 全
行春の人つぎくに移り出づ 山中歌城
物投げて還き流氷や春の水 全
若人に屈托はなし曉月 森崎志一
立退きに抱いて来し雛祭るのみ 全
主席禿頭事務所長閑なり 吉良比呂武
啓蟄の虫捕はれ瓶にあり 金親化石
東風かろく郵便局へ一と走り 杉田静月
鋤後を渡る千鳥や春寒し 石原
紙舟を導はせる子や春の水 石原夫人
病快し布園干す間を窓に倚る 宇都宮義
刺あとの鏡に青き寒さかな 前 正夫
丘照りて夕餉の列に日脚伸ぶ 江崎アヲク
飯遠く育つる草や朝霞 青木夫人
出しといふ妻のこゑあり挿木の芽 田内
そのかみの流氷のあとや草萌ゆる 田内夫人
長閑さや小犬まじりくづくまる 田名ともゑ
毛糸編む人知かの一とたむろ 星野未人
クローラーの水音聞ゆ若葉かな 庵原夫人

颯と飛ぶ晝梟や風二月 佐々木一風
暮山遅しメス見廻りの騎馬巡査 山田嵐川
我等の灯土人村の灯春の宵 木 洋
掛けなして薄暮の頼とりぐに 池田佐保子
五十二はビュウトの銀座金盞花 山中 利子
噴水の玉碧空に透きて散る 全
大いなるソノラ沙漠の春の月 田中てる子
現はると風に乗りたる蝶々かな 山中すみゑ
ボストンに彼はるたりし賀状かな 全
自動車きよけて耕馬の遅しき 林待風子
土こねて子は遊ばせり春の月 杉田玄水
屋根の上の干大根や日脚伸ぶ 光 雄
遠く来しセーシの原や日脚伸ぶ 貞屋舎人
一と、せをひたむきに生き春とはなりぬ高井勇蔵
わづらひき逃れて布園干しにけり 門司夫人
ふる里に吾も若かりし雛飾る 今田夫人
強東風や石ころのみの山の路 大 坪
また、きて残る星や今朝の霜 土山夫人
カクタス山の山ぼんやりと春の宵 住田夫人
屋根々々の油暖爐の煙かな きよ子
灰白く焚火の跡のそこそこ 福山英春
鉄の木き磨き磨ける日永かな 藤井丸應
丘の上の大磐石や日脚伸ぶ 小 室
カクタスの花の乾ける薄暮かな 近藤歌作
春燈や婦人の多き俳句会 横山衛門
密林につづく広野や耕せる 横山三葉
宿願王樹の丘復活の主に見ゆ 山中健汀
春逝くや一老失せて沙汰もなく 全

近く当農事部で
脱水野菜を製造

当農事部で立案中の脱水野菜製造工場は愈々来る廿六日(水)より建築に着手する事となつた。此の工場では野菜の水を除去し原形を十分の一に壓縮した粉状の物に變形するのである。六週間後には工場が出来上り粉状野菜製造が始まる予定である。どんな野菜でも水分を除去することが出来る。ここでは根を食ふ野菜(大根、人参、落花生等)を主として脱水して愛形とするのである。

初めの中は一日三噸半位の野菜を脱水し追々進んで日に平均十噸位宛加工する予定で目下五名の人員が至急入用。

農園ニュース
アリゾナ州では冬の作物であるべきキャベツが、五月の暑さにも負けず驚くべき好成績を挙げ、目下六十九号農園で收穫中である。一英加半のガリリックも收穫して乾燥してゐる。臨時働の人も殆んど期限が終つたか後日又必要に応じて雇ふ心算である。

裁縫ミシンの修繕は四十九日、八時半から四時半迄、日曜は休み。

山の市仏教会
廿五日(火)於オニ会館
法話 今村開教使
廿六日(水)於オニ会館
観音講並に大師講 講師 鈴木開教師

土曜野球試合
山の市
日の出 6 12
仏青

- 三十区 バイキング 35
- 廿八区 パサデナ 6
- 川の町 カーツ 11
- デルタンス 9
- ラフライダー 6
- タイガー 0
- 山の市全軍 5
- 川の町全軍 4
- 結婚 井芹力(羅馬)
- 永松文子(サンタ)
- 結婚 下田正春
- 森久マリ子
- 十七日今村開教使宅に参式
- 広重 豊
- 谷川 妙子
- 十九日山の市仏教会にて参式
- 草場 義雄
- 吉田 澄子
- 廿二日木村開教使司式の下に参式